



奉仕を通じて

# 平和を

田中作次

2012-13年度  
国際ロータリー会長

# Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

立: 1980年(昭和55年)1月10日  
創会 長: 松波 恒彦  
幹事: 平野 好道  
広報委員長: 犬嶺 達郎  
例会日: 毎週木曜日 PM12:30~  
会場: ヒルトン名古屋

事務局: 460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号  
TEL: 052-211-3803  
FAX: 052-211-2623  
MAIL: 2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
URL: http://www.mizuho-rc.jp/

## 第1596回例会

~雑誌月間~

クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

2013年4月25日(木) 晴 第40回 なごやか例会

|      |                  |
|------|------------------|
| 司会   | : 湯澤信雄会場委員       |
| ビジター | : 名古屋東RC 本田伸太郎さん |
|      | : 名古屋栄RC 西村忠郎さん  |
|      | : 名古屋城北RC 太田達夫さん |
|      | : 安城RC 細井英治さん    |
|      | : 稲沢RC 山名敬一さん    |

### 会長挨拶

松波恒彦会長

今日、私の指には虎柄の可愛い包帯が巻いてあり、ニコボックスのところ、皆さんに「その指どうしたの?」と散々聞かれたのですが、これは包丁で切ったわけではなく犬に噛まれたのです。職業柄、犬、猫、その他小動物などを診療しており、相手は所構わず噛んだり引っ掻いたりしてきます。その為このような結果となりました。



家族会の数日前に家内が犬をつれて山崎川を散歩した際、犬に噛まれて急遽家族会を欠席しました。西本副会長であれば、「あなたが噛んだ小指が痛い」とおっしゃることでしょうが、私は仕事で真剣に噛まれました。

「噛まれた」にちなんで最近ヒートアップしている「狂犬病」について話をさせていただきます。狂犬病という病気は、不治の病で発症したらほぼ100%亡くなるといわれています。例年世界中で5万人以上の方が亡くなります。15年前は15万人でした。死者数の殆どはインドと中国です。中国は毎年3千人以上の方が亡くなっています。中国は犬が1億5千万頭くらいいますが、殆ど登録も予防接種もされておらず、2006年頃の雲南省ではあまりにも狂犬病が多かったため、2008年に北京オリンピックが開催されるにあたり、15~20万頭ほどが殺処分されました。飼い主の前で撲殺した上、保証金もたった5元しか出ないという大変野蛮な状況もあったようです。

よくインドに行かれる増田さんは気を付けて頂きたいのですが、インドにおいては3万人以上の方が亡くなっており、その内100万人が治療を受け、被害届けを出します。

狂犬病のウイルスは大変弱いウイルスですが、発症すると死に至ります。噛まれた場合、よく石けん水で洗いアルコール消毒をすることで80~90%くらいは発症を防ぐことが出来ます。しかし、あとの10~20%は発症してしまい、発症するとほぼ100%死に至る大変怖い病気です。

外国に行かれる方が多いと思いますが、私もダイビングをしによく未開の土地へ行きます。獣医の私であっても犬や猫、豚、牛など全ての動物を触りません。日本では狂犬病と言われており、「犬」がいますが、英語ではrabiesと言い、全てのほ乳動物に感染する病気です。

症状についてですが、噛まれる場所によって、発症する時間が違

います。1日に数十ミリずつ神経をたどって脳に届くと、脳痙攣を起こします。脳痙攣の症状というのは他の色々なウイルス性の脳炎等と同じ症状を起こすので、なかなか初期診断ができません。診断がついた頃には亡くなってしまいます。

ウガンダに事業があり、野崎さん、大島さん、加納さんが行かれた際、確か狂犬病の注射を打ったそうですが、とても痛い注射とのこと。もしも野崎さんが未開の地で犬に噛まれた場合、直ぐ病院へ行くとありますが、野崎さんは予防注射をうってあるので、追加ワクチンを当日と3日後の2回打てばほぼ大丈夫です。私たちの様な日本で仕事をしている獣医師は狂犬病の注射はほぼ打っておりませんが、狂犬病が多い海外の獣医師は狂犬病の注射をほぼ打っています。狂犬病のワクチンの注射を打っていない方が噛まれた場合、国によって違いますが数日かけて5、6回程あの痛い注射を打たなければなりません。

狂犬病がない国は大変少なく、アジアでは日本と台湾、(検疫がルーズな為WHOでは認められていませんが)その他ではグレートブリテン島、アイルランド、アイスランド、ノルウェー、フィンランド、オーストラリア、ニュージーランドが狂犬病のない国といわれています。

日本も昭和32年度において狂犬病の注射が普及し、犬の発症は報告されておりません。それから55年間も犬の発症はおきておりませんが、人間はこの15年の間に3名の方が狂犬病で亡くなっています。1人はネパールに行った際に犬に噛まれ、あとの2人はフィリピンで犬に噛まれたことによって発症しました。海外に行かれる場合は犬や猫、豚、牛、馬などに触らないようにして下さい。

日本でも犬に予防接種を打っていない飼い主がたくさんおり、接種率が40%に落ち込んでいます。どんな病気でも70%を割ると、ウイルス性の病気が発症した場合、一気に広まるため40%を割っている現状をかなり危惧しております。犬を飼っている方は法律で決まっているので狂犬病の予防接種をして下さい。猫も放し飼いになっていることがあるので気を付けて下さい。

このように狂犬病は世界中で猛威をふるっています。6月に世界大会でポルトガルに行きますが、途中でスペインに行かれる方も両国とも今現在は狂犬病は出ておりませんが、ヨーロッパ大陸では蔓延しているので気を付けて下さい。

長くなりましたが、ご静聴ありがとうございました。

### 幹事報告

平野好道幹事

- ・4月25日(木)13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第4回R情報・研修委員会(中堅会員研修会)を行います。
- ・次週5月2日(木)はR規定により休会です。
- ・次々週5月9日(木)13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第11回理事会・第6回CAを行います。

### 出席報告

梅村昌孝出席委員長

会員63名 出席39名(出席計算人数48名)

出席率 73.6%

4月7日は補填により98.0%

・ よろしくお願ひします。

**本田伸太郎さん 西村 忠郎さん 太田 達夫さん  
細井 英治さん 山名 敬一さん**

・ 今日4月25日は結婚記念日です。女房をなくしましたのでどうしようかと会長に相談しましたら、次の良い縁があるかもしれないので出しなさいと云われました。 **野崎 洋二さん**

・ 地区研修委員会より5名、本日の中堅会員研修会に参加させていただきます。お世話をかけますがよろしくお願ひします。

**天野 正明さん**

・ 地区研修委員会委員の方をお迎えしまして・・・

**長瀬憲八郎さん**

・ 皮膚科学会も無事終わりました。皆様のご協力に感謝いたします。

**田中 隆義さん**

・ ニコボックスで今日の会長挨拶の話題がひらめきました。

**松波 恒彦さん**

・ 松波さんごくろうさんです。

**宗宮 信賢さん**

・ 湯澤信雄さん、先日はお世話になりました。サインするごとに毎回「弟さんですか?」と聞かれ、毎回説明しておきました。

**湯澤 勇生さん**

・ 今日いいことがありますように。

**稲垣 豊さん**

・ 梅村さんお久しぶり!

**渡辺喜代彦さん**

・ 本日は研修でお世話になります。

**鈴木 淑久さん**

・ 今日研修、よろしくお願ひします。勉強不足です。

**梅村 昌孝さん**

## 国際ロータリー・ニュース

### 3年に1度の規定審議会がシカゴで開催

今週(4月21~26日)、ロータリーの532地区から代表議員がシカゴに集まり、規定審議会を行っています。3年に1度開かれる審議会では、ロータリーの組織規定(国際ロータリー定款と細則、標準ロータリー・クラブ定款)に変更を加える、クラブや地区などが提出した立法案を審議します。今回の審議会の立法案は174件に上ります。

79年の歴史をもつ規定審議会、当初は立法案審査を助ける諮問会合として国際大会中に行われていました。最初の会合は1934年、不況、平和への脅威、高い失業率で世界が揺れ動いている中での開催となりました。1954年までには審議制度も確立し、制定案と決議案を検討するために2年に1度行われるように変更されました。

1970年国際大会では、審議会を諮問的立場にある会合としてではなく、組織規定の改定案件を審議するロータリーの公式立法機関とすることが決まり、4年後には、国際大会に合わせて3年に1度開催することが決定されました。そして1977年、規定審議会は国際大会から独立した会合となりました。

審議会におけるテクノロジーの利用も、時代とともに進化してきました。1970年からは、ヘッドホンを通じて通訳を聞けるようになり、今日、出席者は2言語間の通訳だけでなく、3言語のリレー同時通訳を聞けるようにもなりました。また、2001年には電子投票システムが導入されました。

これまでに実にさまざまな案件が審議されてきました。もちろん、意見の衝突が起こることもあります。しかし、規定審議会には

一つの真実があります。急速に変化を遂げる世界において、ロータリーも時代のニーズに応じて進化する必要があり、それを可能にするのが規定審議会であるということです。ロータリーに大きな変化をもたらした審議会決定には、次のようなものがあります。

1980年、ポリオから子どもを守る予防接種活動の実施が決定されました。その前年には、フィリピンの600万人の子どもにポリオ予防接種を行うための資金を提供する、最初の「保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)補助金」を理事会が採択しました。この活動は1985年、ポリオ・プラス・プログラムに発展し、翌年1986年の審議会では、世界中の子どもに予防接種を行ってポリオを撲滅するロータリーの誓いが採択されました。今日でも、ロータリーはポリオ撲滅を最優先項目として掲げています。

1989年、世界中のクラブで女性の入会を認めることが票決され、世界各地のクラブの長年の願いが実現しました。

1950年、ロータリーの「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の標語が採択されました。

2001年の審議会は、1,000件を超える案件が提出され、600以上の立法案が審議された歴史的な会合となりました。

### 規定審議会とは

ロータリーの立法機関である規定審議会は、3年毎に会合を開き、クラブ、地区大会、グレート・ブリテンおよびアイルランド内のRI審議会や大会、ならびにRI理事会から提出された制定案と決議案を審議し、票決します。規定審議会自体も法案を提出することがあります。

3年に一度開かれる規定審議会は、ロータリーの管理運営プロセスの重要な部分です。理事会が国際ロータリーの方針を決定する一方、規定審議会ではロータリー・クラブが組織の運営に関して発言する機会が与えられます。審議会には地区からの代表議員が派遣され、ここで法案の審議が行われます。全クラブと地区には審議会へ立法案を提出する権利があり、審議会の決議がロータリーの最も重要な活動に影響を与えることもあります。1989年規定審議会の決議によってロータリーに初めて女性が入会し、1986年審議会の決議からは「ポリオ・プラス」が誕生しました。

規定審議会は、ロータリー世界の各地から集まる500名以上の代表議員によって構成されます。投票権を有する議員には、各ロータリー地区のクラブから1名ずつ選出された代表議員が含まれます。投票権を有しない議員は、規定審議会の議長および副議長、RI会長、RI理事会のメンバーと元RI会長です。

今回の規定審議会は、米国イリノイ州シカゴにて、2013年4月に開催される予定です。審議会議長はマーク・ダニエル・マローニ氏、審議会副議長はジョン・ボーグ氏、議事運営手続の専門家にはルドルフ・ホーンドラー氏が務めます。

規定審議会の代表議員は、2010-11ロータリー年度に選出されます。

2013年規定審議会の立法案の提出締切日は、2011年12月31日です。

2010年規定審議会は、2013年審議会の立法手続きに大幅な変更を加えました。これには、「趣旨および効果」に関する声明文の提出をすべての立法案に義務づけること、また投票権を有する議員となれる回数を制限することが含まれます。

### 例会のご案内

■5月2日(木) R規定により休会

■次週卓話

5月9日(木)

会員卓話：森恒夫さん

テーマ：政権と税

■次々週の行事 5月16日(木) なごやか例会